

## 対馬市組織計画(仮称)素案に関するパブリックコメントの募集結果

### 1 目的

パブリックコメントとは、行政が意思決定する際の政策等を事前に公表し、その案について広く市民からのご意見や情報を募集するものです。今回、「対馬市組織計画(仮称)素案」について、下記のとおり実施しましたところ、次のようなご意見をいただきましたので、回答とともにお知らせします。

### 2 募集期間

平成 24 年 12 月 21 日 (金) ~ 平成 25 年 1 月 21 日 (月)

### 3 意見応募件数

1 件

### 4 意見に対する回答

意見 (要点)	回答
類似団体との比較であるが、対馬市の面積、人口と数値に近い秋田県鹿角市と比べると(対馬市は、南北に長く地形の差があると考え)、職員数の推移、決算状況について差が見受けられ考慮すべき点があると思われる。	鹿角市においては、平成の大合併での合併はなく、昭和 47 年から現在まで他自治体との合併は行っていないなど、市の状況に違いはありますが、数値的にはご意見のとおり差が見受けられます。しかし、対馬市におきましても、定員適正化計画による人員の削減、中期財政計画による健全財政への取り組みなど、行政全般にわたって行財政改革の取り組みを実施しており、その成果も見て取れる状況にあります。今後におきましても、なお一層の取り組みを図ります。

意見（要点）	回答
<p>各活性化センターの統合により、出張所機能となるセンターについて、地域住民に密接な業務は住民生活課で対応するので、地域活性化センターの統合を実施しても、機能の低下は生じないので、影響はないものと考え</p>	<p>出張所機能となる活性化センターにつきましては、市民皆様に対する行政サービスの低下を招くことがないように、業務内容の検討を進めます。</p>
<p>中部地域活性化センター（仮称）、北部地域活性化センター（仮称）で地域支援課、住民生活課の業務を行うので、出張所には、相談等の窓口を設置し、地域支援課の業務に関連する事案についての来庁者に対し、管轄の地域活性化センターに取り次ぎが出来るような態勢づくりを行う。</p>	<p>ご意見のような体制づくりを基本として協議を進めます。</p>
<p>対馬市は、島の約9割が森林であることから、森林資源の有効活用や森林整備の必要性が高いと考えることから、各地域活性化センター地域支援課に農林業関係の業務に従事できる専門職員を配置し、本庁部局、対馬振興局（林業普及指導員と密にする）、関係団体と連携を密にし、対馬の林業再生を望みます。</p>	<p>現在の限られた職員数の中で、ある業務に特化した職員の配置は厳しく、直ちに対応することは難しい現状ですが、専門職の配置も必要となってくることも考えられますので、継続した検討をおこないます。</p>

意見（要点）	回答
<p>消防署に豆鞆分遣所を開所予定であるが、救急車の配備が主であると思料することから、廃止予定となっている豆鞆出張所庁舎を分遣所に利活用できないか。</p>	<p>現在の駐車場スペースでは狭く、出張所庁舎を改修する場合、多額の費用を要することと、当庁舎は築40年を経過しており、耐震強度や耐用年数を考慮すると更に費用が必要となります。そして、出入口についても、幹線道路が狭隘な上にカーブを伴っているため、緊急車の出入口としては、警察から「不適切」との指導がありました。また、出張所の廃止年度は決定していませんので、分遣所建設との時期的な問題もあり、出張所庁舎は利用不可としています。</p>
<p>教育委員会本庁の峰庁舎への移転と併せて、文化財課も同庁舎に移転予定となっているが、まだ埋もれている文化財を掘り起こし、指定文化財と併せ、これら文化財を峰の歴民、新たに建設される博物館で集中して管理することが必要と考える。</p>	<p>対馬には、多くの貴重な文化財が存在します。埋もれている文化財は多く、それらは未指定であり、それらの保存と活用は文化財課の重要な業務の一つであります。現在計画中の博物館を中心とした管理・研究・活用・保存の各業務を現施設（峰・豊玉・上対馬）と担う必要があります。役割を明確にし、特徴を活かした施設づくりを市民の皆様と一緒に構築することを目指します。</p>